

無差別平等の 医療・介護を目指して

～ 合同職責者会議開催 ～

6月24日(土)
午後、神戸健康共和
会グループ4社合同
の職責者会議が開催
されました。

開催目的は①貧困
と格差、超高齢化社
会に立ち向かう無差
別平等の医療・介護にむけて②2017年度共和会方針の
確認③病院リニューアル着工元年に！

「今、地域では患者・利用者・高齢者の実態にせまる」ということでパネルディスカッションをしました。①予期せぬ病院外死亡事例②地域包括ケアでの相談活動から見えるもの③診療所から見える患者(在宅・外来)の状況と無料低額制度活用の実績。

パネラーの講演を聴き、地域で活動している介護者として、1つの事例を紹介しました。



息子は、母親の介護をする為に働いておらず、母親の年金で親子二人が暮らしており、母親は、1日エンシュアリキット2本、サービスは、往診月1回、訪問介護月1回、訪問看護月1回を入れるだけで精一杯です。

手厚い介護をしてあげたくても母親の年金6

万ほどでは大変困難な状態です。年金が6万ほどの方は、家賃・光熱費などの支払いをすると生活費が残らず、もやしや食パンばかり食べ、満足した食事も摂れず、医療にもかかれず孤独死に至る例が多い。

私たちの知らない所に、生活困窮者がまだまだ存在している。このような方々を支えていく為に、地域実態調査や地域包括センター・医療・介護の連携を深めていく

必要があると思います。

分散会討議では、日々現場業務の中で、患者・利用者の置かれている状況として感じることは、病院に地域包括ケア病棟が出来ていても、患者・利用者、家族には地域包括病棟の意味すら理解できていないことが多々あり、入院中に病棟が変わり家族としては、状況がわからないことがある。

東神戸病では、患者・利用者の為に、無料低額制度の活用や無差別平等の医療・介護・平和の問題・疾病予防、健康教育、ヘルスプロモーションの実践等多くの活動をしていることを、もっと地域にアピールし、地域や医療・介護とのコミュニケーションを深め本気の連携をしていかなければならないと感じました。

(藤原久美子)



やえちゃんちスペシャル

皆の手がおいしくさせるのよ！



HPH 体操でストレッチ↑
←見事な出来栄クッキー

毎週木曜日に行っている“やえちゃんち”は今年から第4木曜日にスペシャルデイとして特別企画にとりくむことになり7月27日に第1回目を行いました。

食べることは生きる事へのつながりとして当日ご参加の皆様と共に、ご自身の手で“ふるったり” “こねたり” “つぶしたり” と各々自主的に・・・目的はパンケーキづくり。(次ページにつづく)

権利擁護と虐待防止研修(29年度)

そこは、かつての往年の主婦たちばかり、手早いのは驚き！スタートからフィニッシュまで約1時間がうれしい！！

冷蔵庫内にある卵・完熟バナナを計量なしであっという間に生地のできあがり。オープンへと・・・ソフト運動後のティタイムが待ち遠しい。

やがてオープンより美味しいそうな匂いがプンプン。熱い熱いケーキなんて口にしたことがない。へエ～・ヤア美味しいワの言葉が次への励みとなり、「皆の手が美味しくさせるのよ」と、元ケーキ屋さんから褒めて下さった言葉に感激！（仁部亮子）

終末期の方に向かってかかわるか

～ 全体学習会「在宅での看取り」～



6月14日（水）野の花会館において「在宅での看取り」をテーマにああす全体学習会が開催されました。

訪問看護ステーションあじさいの井上所長を講師に招き31名が参加しました。

学習会が終わると涙をぬぐう人、自身に思いを馳せる人、同じ仲間で見つめ合う人達。それぞれに振り返る良い機会を持てた学習会であった。

エンド・オブ・ライフケアは終末期だけでなく生命が終わる時まで最善の生を生きる事ができる様に支援する事とあったが、死を社会的課題として考えるだけでなく自分のこととして考える機会になったことが、この反応に繋がったように思われた。

介護員として終末期の方に向かってかかわっていくのか、その連携の望ましい形とは、課題は多いかもしれないが、異なる職種が価値観を共有して同じ方向を向いていかないと、その人にとっての最善の死を看取る事は難しいと思った。今後も医療者から学ぶことで連携だけでなく、

命の尊さも学んでいきたい。（馬詰牧子）



←5月に開かれた「嚙下学習会の模様です。本文とは関係ありません



グループごとに熱心な論議。育成委員から適切なアドバイスが

平成 29 年度の権利擁護・虐待予防の研修は、8月16日（水）17日（木）東神戸薬局、25日（金）、ふきあいの郷で開催しました。今回は、グループワークで司会、書記、発表者を分担しました。

始めは参加者も戸惑いながらでしたが、話し出すと盛り上がり時間もギリギリまで！！楽しく、反省し、ロールプレイでは「ああすの女優達」も飛び出しました。

自分たちも、日々のサービスで利用者さんの事をもっと理解できるように努力しようなど色々な意見がありました。

- ・各ステーションの介護員が、直面している問題や悩み、迷い等を話し合い意見の交流が出来て良かった（少し時間不足だったのが残念）

- ・利用者さんと親しくなるのは良いが慣れあいにならないように気を付ける。



ロールプレイでは名演技 ↑
.....
グループ報告を心配そうに見つめる育成委員 ↓



- ・必要に応じて担当者会議にも参加したい。

- ・振り返りで権利擁護・虐待防止の再確認ができた。等の感想が寄せられています。

（森田知雅子）

9条の傘で世界中に平和を

平和大行進に参加して



今年でこの行進は60回目となります。先日、長年に渡る原水爆禁止の様々な運動とヒバクシャの皆様の訴えにより国

連で核抑止力も認めない「核兵器禁止条約」が採択されました。

このニュースで、7月10日(石屋川公園～神戸市役所)の行進も、気持ちに弾みがつき足取りも軽く、石屋川公園を出発できたものの、道中やはり暑かった！例年通り、元安川ならぬ生田川の橋の上で、長谷川副理事と成田ケアマネ、互助組合さんからの飴やとまと等の接待をうけて一息つくことができました。

「とまとがたべたい…」と言いながら亡くなっていった幼い女の子のことを思いながら、見上げた青空に突然閃光が広がり、轟音と爆風に襲われることを想像しながら、核兵器ではなく「九条の傘」で世界中に平和がもたらされることを願いながら、午前中の到着地点市役所まで行進しました。(青柿早苗)



原水禁大会in長崎に参加してきました

塩谷隆三

今年の世界大会には、世界中から実に7千人が参加しました。世界中で核兵器禁止条約の実現に向けて声が上がっています。そしてその動きは72年訴え続けてきた被爆者とともにあることを、世界大会に参加して私は強く感じました。



◎核兵器禁止条約のポイント

- ・核兵器は大量破壊兵器で唯一、条約で禁止されていなかった。
- ・禁止条約ができると、私たち市民は核保有国など条約に加わらない国に対して、核兵器廃棄や核兵器の使用

を止めるように法的に堂々と主張できる。また条約に加入した国には核兵器の持ち込みや配備、威嚇などが出来なくなります。

◎ヒバクシャ国際署名のポイント

「被爆者は、すみやかな核兵器廃絶を願い、核兵器を禁止する条約を結ぶことを、すべての国に求めます」この呼びかけで、

2020年までに世界で2億人の署名を目指しています。これらのとりくみをきっかけに一人一人の平和を願う思いがひとつになって、未来がもっと平和になってほしいと心から思います。

壮行会で決意を語る塩谷介護員



第27回

東灘納涼盆踊り大会

浴衣の君にドキッ!



第27回盆踊り大会が、8月6日 東灘区の雨の神公園で開催されました

昨年は雨天の為、盆踊り中止。

野の花サロンでの福引きのみでしたが、今回は気持ち不消化の昨年の分まで、頑張るぞ!の勢いで、来られる人も、迎える人もテンション倍増。家族連れやカップル、なかには車椅子で・来られる人、リクライニング車椅子で参加される人、老若男女たくさんの人が集われました。福引は、エステ券などもありお肌の曲がり角にさしかかった女性(やや角をまがってしまった女性にも)には嬉しい景品でした。

空がコバルトブルーに変わる頃には、盆踊りも大盛況!日頃、白衣の天使が浴衣の君に変身、少しドキッとしましたが(いろんな意味で)盆踊りの醍醐味満載の日でした。(長谷川歩)



予算にこだわって

第一四半期経営検討会

去る8月10日の午後、地域福祉会あすの合同管理会議を開催しました。(次ページにつづく)

目的は①第一四半期の経営状況を共有すること。②事業の前進面と課題を明らかにすることでした。

経営の到達は、介護員が減少する中で常勤職員・非常勤職員の努力の結果、第一四半期の全ての月で黒字を確保しています。その要因は低収益・低費用の経営構造となっていること。とりわけ介護員の減少による人件費の減少が大きく影響していること。



一般管理費も前年実績を元にしたもので現状との乖離が生じていることが明らかとなりました。

意見交換の中では、灘からは、アクセスの悪い中でも一定の改善ができた。生田北からは、非常勤職員にも1日に5~6件の訪問をしてもらっている。中央は、退職者が相次ぎ苦労している。高齢のヘルパーさんには生活中心の新規を担ってもらい夜間対応ができれば「ケアホーム布引」からの退所も防げるのでは。こうなんは、他の事業所から移ってきた介護員や掛け持ちの介護員も様々な利用者に対応してもらい、複数で関われる体制がとれている。などの報告がありました。

神戸健康共和会から特別参加の門専務からは、「ふきあいの郷」はグループとしての原点。連携が不十分な事は承知している。

改善のために努力したい。との発言がありました。

最後に、みんなで作った予算にこだわり達成を目指すことと、2018年の医療・介護の当時改定に向けた対応もすすめることを確認し合いました。



竜田茂 副理事長を偲ぶ会



共和会退職後、ああす創設から18年間にわたり、ずっとああすに関わって頂いていた竜田副理事長が5月23日にお亡くなりになりました。生前の竜田副理事長を偲び

9月3日、魚崎西町会館に於いて偲ぶ会が開催されました。

50人の参加があり、それぞれの思い出を話され、また涙あり笑いありのなごやかな偲ぶ会になりました。

ああす関係者のメッセージをご紹介します。

共和会在職中にいろいろお世話になりました。NPO ああす設立の際にもお世話いただくなど、物心両面で励まされましたね。鳴門高校が甲子園で勝った時互いに喜び合いました。静かにお眠りください。(T.I)

遠い彼方からああすを見守ってください。心からご冥福をお祈りします。(M.I)

別の機会に伺えることがよろしければ、是非そうしていただきたく思います。(M.U)

いつも写真を撮って下さってありがとうございました。(M.U)

いつもニコリほほえみ、やさしく時には厳しく話されてい竜田さんでした。その笑顔はいつまでも忘れません。(S.O)

長い間お疲れ様でした。私が住吉に異動になったときから、いろいろお世話になりました。お世話になったことは忘れません。ありがとうございました。(R.K)

竜田さんの書かれるああす TIMES の大ファンでした。職員のことをいつも気にかけてくださり、大変な時は助けて下さり本当に感謝しております。長い間ありがとうございました。(Y.S)

お世話になりました。ありがとうございました。ご冥福をお祈りします。(M.T)

これから「ああす」で一緒にがんばろうと思っていたところの訃報に驚いています。謹んでお悔やみ申し上げます。(A.N)

ああすに着任してから、またそれ以前から大変お世話になりました。ありがとうございました。先生と実地指導に向けて準備したり、ファイルの整理の思い出は決して忘れることはありません。先生いつまでも見守って下さいね。(M.F)

いろいろお世話になりました。時には厳しく、時には優しく、いつもなだめすかしながらご指導いただきありがとうございました。(K.F)

長い間、本当にご苦労さまでした。会うたびに声をかけて下さって、楽しい時間を過ごさせてもらいました。どうぞゆっくり休んで下さいませ。ありがとうございました。(E.H)

突然のことで驚きました。ご生前のご厚情に感謝いたしますとともに、謹んでご冥福を心よりお祈り申し上げます。(A.H)